

# 新日軽 サルーム(サルームイ型)

## 屋根部材取付・取扱説明書

### < 目次 >

●お客様への取扱いの手引	1
●施工店様への施工注意事項	2
●屋根部出巾方向断面 } ●屋根部間口方向断面 }	3
●基本プラン図(1)	4
● " (2)	5
● " (3)	6
●屋根付風除室全体図	7
●基礎の設定	8
●コーナー方立及連窓方立下部納り図 } ●基礎工事詳細図 }	9
●縦部材寸法算出基準(1)	10
● " (2)	11
●縦部材の切断加工手順(標準屋根勾配10度用)	12
●側面パネル及自在棟木取付手順	13
●前面パネル用割方立兼縦枠・方立カバーの加工組立手順	14
●前面パネル組立手順	15
●屋根パネル部材組立図	16
●屋根パネル部材加工組立手順	17
●屋根パネル組立図	18
●たる木取付枠と自在棟木固定部組立図 } ●コーナー方立屋根部組立図 }	19
●棟木自在カバー取付図 } ●たる木カバー取付図 }	20
●別売中骨納り図	21
●基本部材梱包セット明細一覧表	22

※風除室本体の取扱い説明書は別途EXM359をご覧ください。

■ **サンルーム(サンルーミィI型) 屋根付風除室** をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。いつまでもご使用いただくため、下記事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1. この商品はアルミ製ですが、定期的(下記表参照)にやわらかい布を用い、水又は中性洗剤等で表面の汚れを拭き取ってください。

立地条件	清掃回数
海岸地帯	3～4ヶ月に1回
工業地帯	3～4ヶ月に1回
市街地	4～6ヶ月に1回
田園地帯	6～12ヶ月に1回

2. 屋根パネルのガラス取合部分(外部側)には、チオコール又はシリコンで必ずシールして下さい。
3. 屋根ガラスは6.8mm網入りガラスを御使用下さい。屋根勾配は0°～30°まで可能です。
4. 軒部に角度無目を使用することにより、屋根よりの落下物(フトン、雪)等に対して衝撃をやわらげる機構を施してあります。
5. 引戸の開閉、錠の掛かりが悪くなった場合は、早めに調整するようにして下さい。無理な使い方をしますと、故障の原因にもなりかねませんのでご注意ください。
6. 万一引戸・ドアの錠を紛失した場合は、下記施工店へご相談ください。
7. **積雪地方で御使用の方は屋根に60cm以上の積雪の場合必ず雪おろしをして下さい。**
8. 施工には固定された土間が基本仕様です。基礎工事を造り、仕上げた後1週間後に施工して下さい。
9. 当社製品は一般住宅の1～2階に設置するのが基本仕様です。ビルの屋上等高い所での御使用はさけて下さい。
10. 床面積は10㎡を越えると確認申請等の必要な場合がありますので、10㎡以下となるようにして下さい。
11. 台風時、突風時に、開口部が開いていると予想以上の力が屋根等に掛りますので、かならず開口部を全て閉め切った状態にするよう、充分注意して下さい。
12. 飛来物によるガラス破損の予想される所では、屋根材をポリカーボネート等の合成樹脂製品を御使用下さい。

(サンルーム用としてポスト無し引戸セットが用意してあります。  
引戸・高窓には専用の網戸が用意してあります。  
下記施工店へご相談下さいますようお願いいたします。)

## ■ 施工店名

# 施工店様へ

---

## ■ 施工注意事項

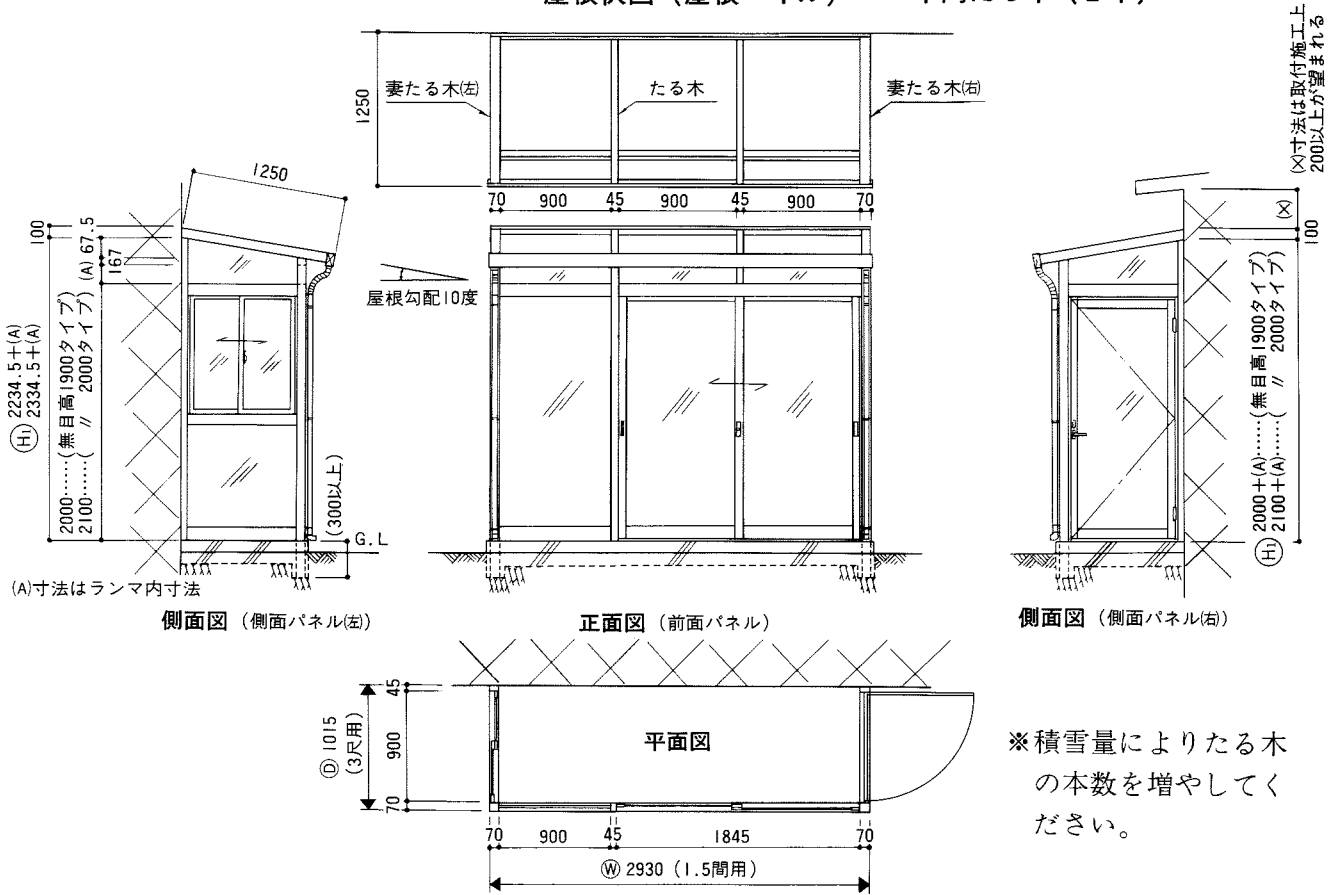
- 急結剤は使用しない様にして下さい。
- 海砂は十分水洗いして下さい。
- 当社の商品は耐食アルミニウム合金押出型材や、アルミニウム鋳物合金を主材に陽極酸化皮膜（アルマイト）とクリア塗装、又は塗料による塗装などの表面仕上げを施して腐食防止しておりますが、施工の際、下記の点に御留意の上お取扱い下さい。
  - ① モルタルコンクリートには急結剤を使用しない様にして下さい。  
腐食し危険な状態になる場合が有ります。  
もし使用する場合は、塩化カルシュームや塩素系の化合物・硅酸ナトリウム等の入っていないものを使用するようにして下さい。
  - ② 海砂を使用する時は十分水洗いをしたものをご使用して下さい。  
水洗いが不十分の場合は腐食する可能性があります。
  - ③ 輸入木材は塩分が含浸しているものがありますので、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにして下さい。
  - ④ アルミニウムと異種金属（特に銅系等）と直接ふれない様にして下さい。電位差により電食を起しアルミニウムが腐食し孔があいたりします。  
もし使用する場合は、アルミニウムと接触する銅系等にビニールテープ等をはり、絶縁処理をして下さい。



# ■基本プラン図(1)

●間口1.5間×出巾3尺タイプ

屋根伏図 (屋根パネル) ……中間たる木 (2本)



※積雪量によりたる木の  
本数を増やしてく  
ださい。

基本プラン部材明細 (無目高2000タイプ)

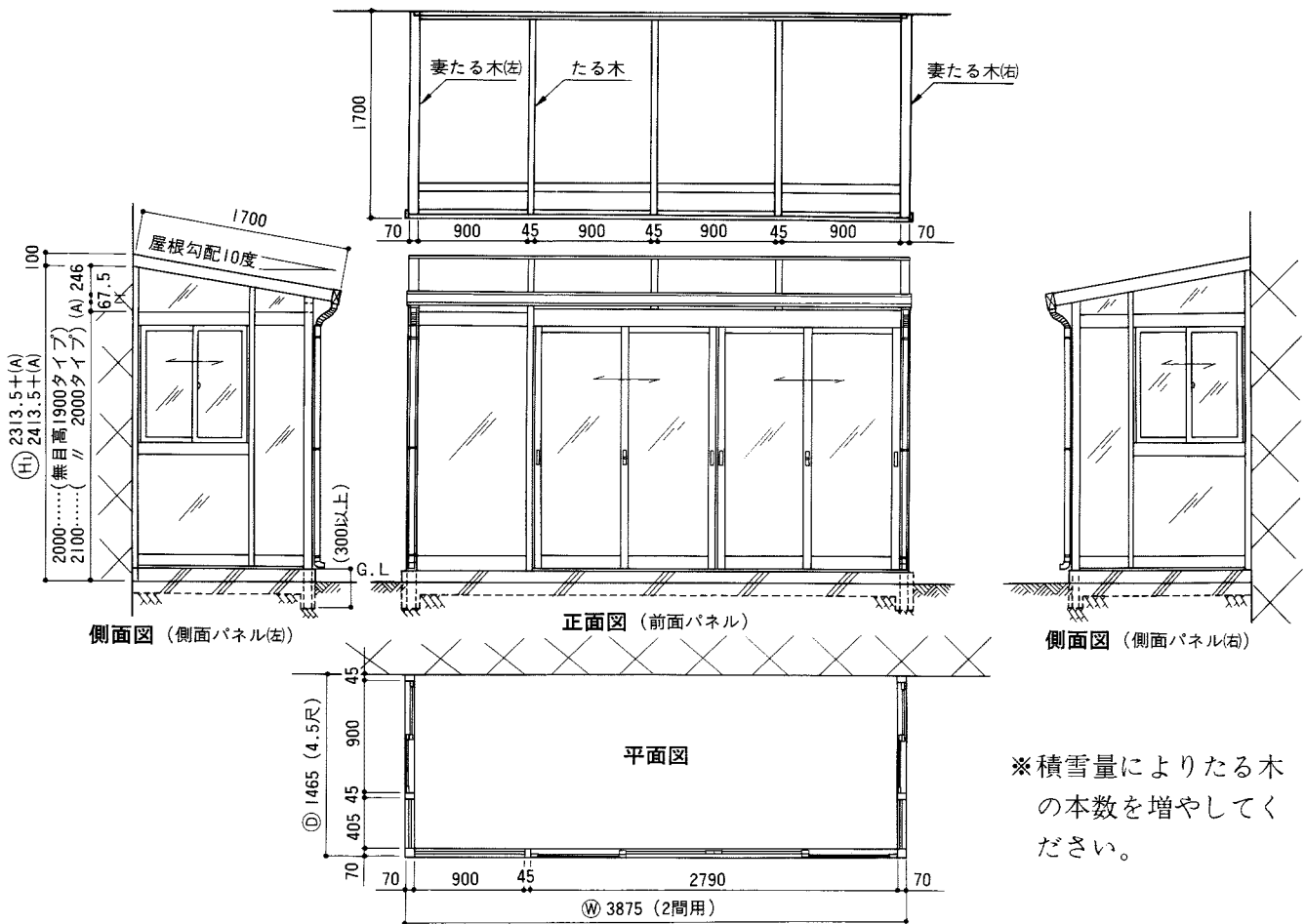
名	称	梱包記号	前面パネル	側面パネル		屋根パネル
				左	右	
嵌 殺 し 用	割方立セット2000	CFJF20HK				
	横材セット09	CFJFY09				
引 戸 用	方立カバー2000	CFJH20KK				
	横材セット1820	CFJHY1820				
	障子セット1820	CFJH1820				
高 窓 用	割方立セット2000	CFJW20HK				
	横材セット09	CFJWY09				
	障子セット0910	CFJW0910				
ド ア 用	横材セット09	CFDY0920R				
	框ドアセット0920	CFJD0920R				
	錠セット	CFJDBOXI				
	コーナー方立	CFJCH	2			
屋 根 用	横材セット 1.5間用	CWRY27				
	たる木 (3本入) 3尺用	CWRT092				
	妻たる木 (左・右) //	CWRG09				
	鼻隠し兼雨樋 1.5間用	CW2RG27				

※中間たる木ピッチは内々寸法で900mm以内に設定して下さい。  
※梱包記号は、こはく(C)で表示してあります。

## ■基本プラン図(2)

●間口2間×出巾4.5尺タイプ

屋根伏図(屋根パネル)……中間たる木(3本)



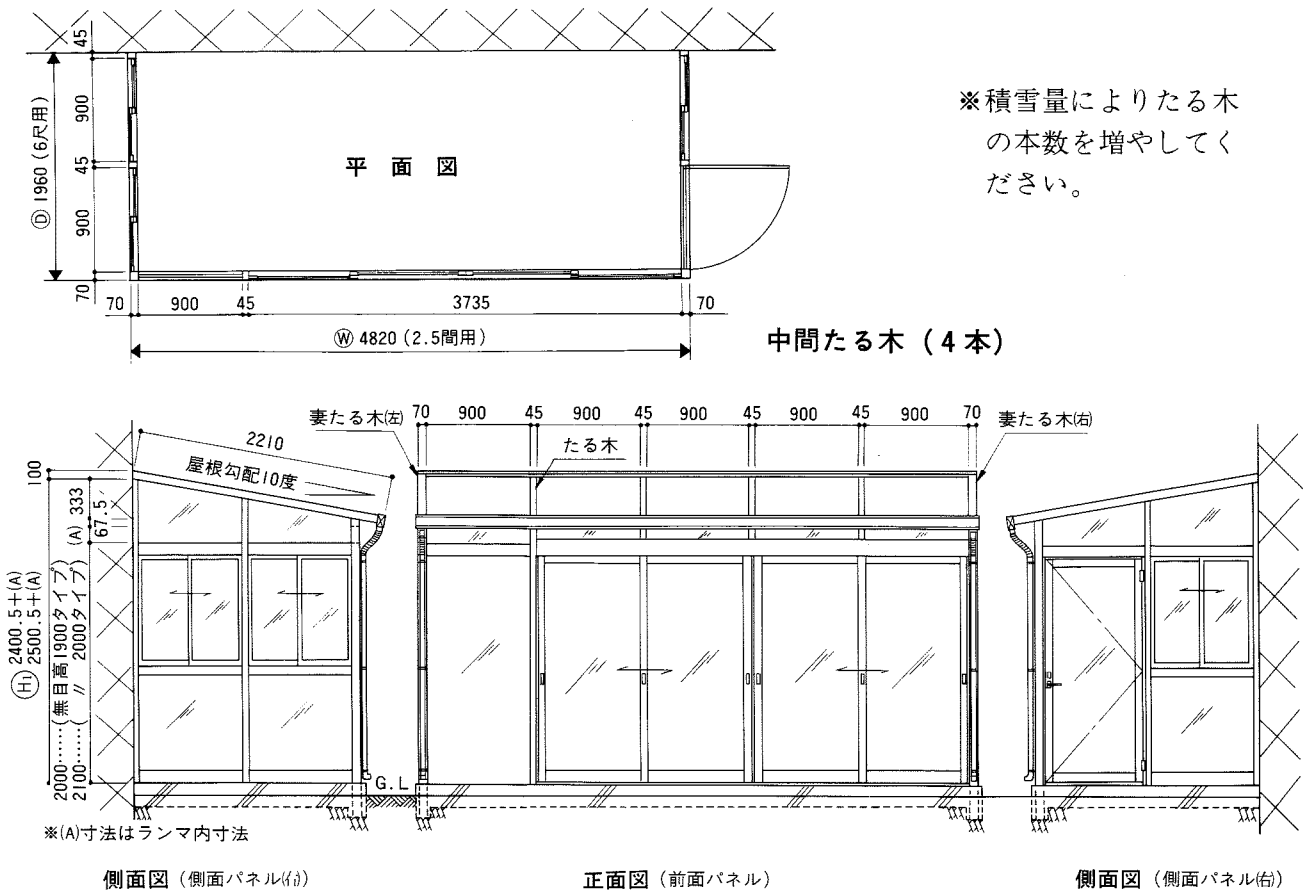
※積雪量によりたる木の本数を増やしてください。

基本プラン部材明細(無目高2000タイプ)

名	称	梱包記号	前面パネル	側面パネル		屋根パネル
				左	右	
嵌殺し用	割方立セット2000	CFJF20HK	1	1	1	
	横材セット09	CFJFY09	1	1	1	
引戸用	方立カバー2000	CFJH20KK	1			
	横材セット2720	CFJHY2720	1			
	障子セット2720	CFJH2720	1			
高窓用	割方立セット2000	CFJW20HK		1	1	
	横材セット09	CFJWY09		1	1	
	障子セット0910	CFJW0910		1	1	
	コーナー方立	CFJCH	2			
屋根用	横材セット 2.0間用	CWRY36				1
	たる木(2本入) 4.5尺用	CWRT133				1
	妻たる木(左・右) //	CWRCT13				1
	鼻隠し兼雨樋 2.0間用	CW2RG36				1

## ■基本プラン図(3)

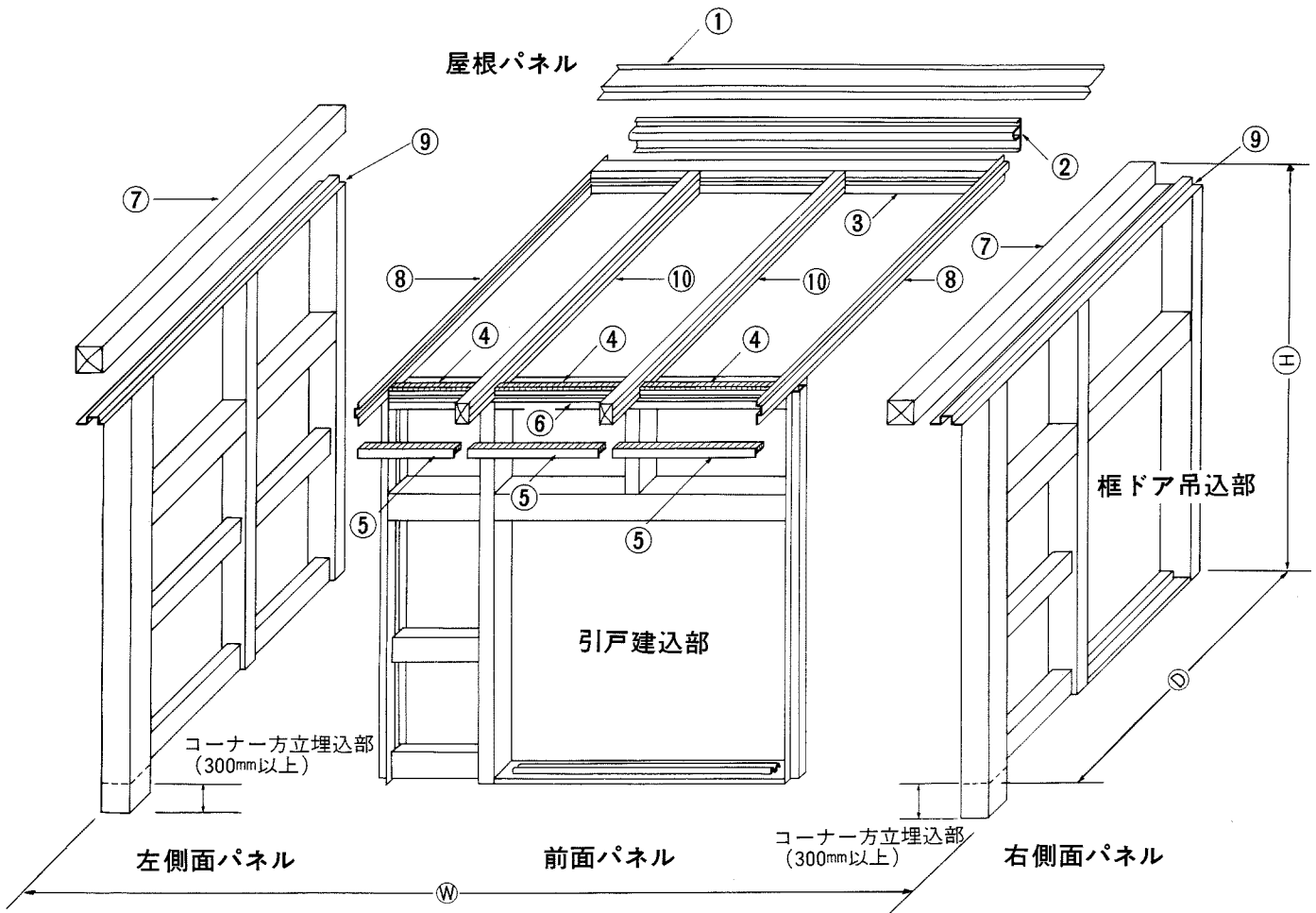
●間口2.5間×出巾6尺タイプ



基本プラン部材明細 (無目高2000タイプ)

名	称	梱包記号	前面パネル	側面パネル		屋根パネル
				左	右	
嵌殺し用	割方立セット2000	CFJF20HK	1		1	
	横材セット09	CFJFY09	1			
引戸用	方立カバー2000	CFJH20KK	1			
	横材セット3620	CFJHY3620	1			
	障子セット3620	CFJH3620	1			
高窓用	割方立セット2000	CFJW20HK		2	1	
	横材セット09	CFJWY09		2	1	
	障子セット0910	CFJW0910		2	1	
ドア用	横材セット0920R	CFDY0920R			1	
	框ドアセット0920R	CFJD0920R			1	
	錠セット	CFJDBOX1			1	
	コーナー方立	CFJCH	2			
屋根用	横材セット 2.5間用	CWRY45				1
	たる木 (2本入) 6尺用	CWRT182				2
	妻たる木 (左・右) //	CWRCT18				1
	鼻隠し兼雨樋 2.5間用	CW2RG45				1

## ■ 屋根付 サンルーム(サンルーミィ I 型) 風除室全体図



### ● 屋根部材名称

① 棟木自在カバー	⑤ ガラス受アングル	⑨ 妻たる木アタッチメント
② 自在棟木	⑥ 自在軒桁・軒上桼・上桼アタッチメント	⑩ たる木・たる木カバー
③ たる木取付桼	⑦ 妻たる木	
④ 軒桁ガラス受アタッチメント	⑧ 妻たる木カバー	

### ● 概 要

前面及び側面パネルのパターンを決めます。次にH寸法及び屋根勾配を決め各部材を切断加工します。(屋根部材は標準屋根勾配10度用に加工してあります。)

次に前面及び側面パネルを組立て、②部材を建物に取り付けます。

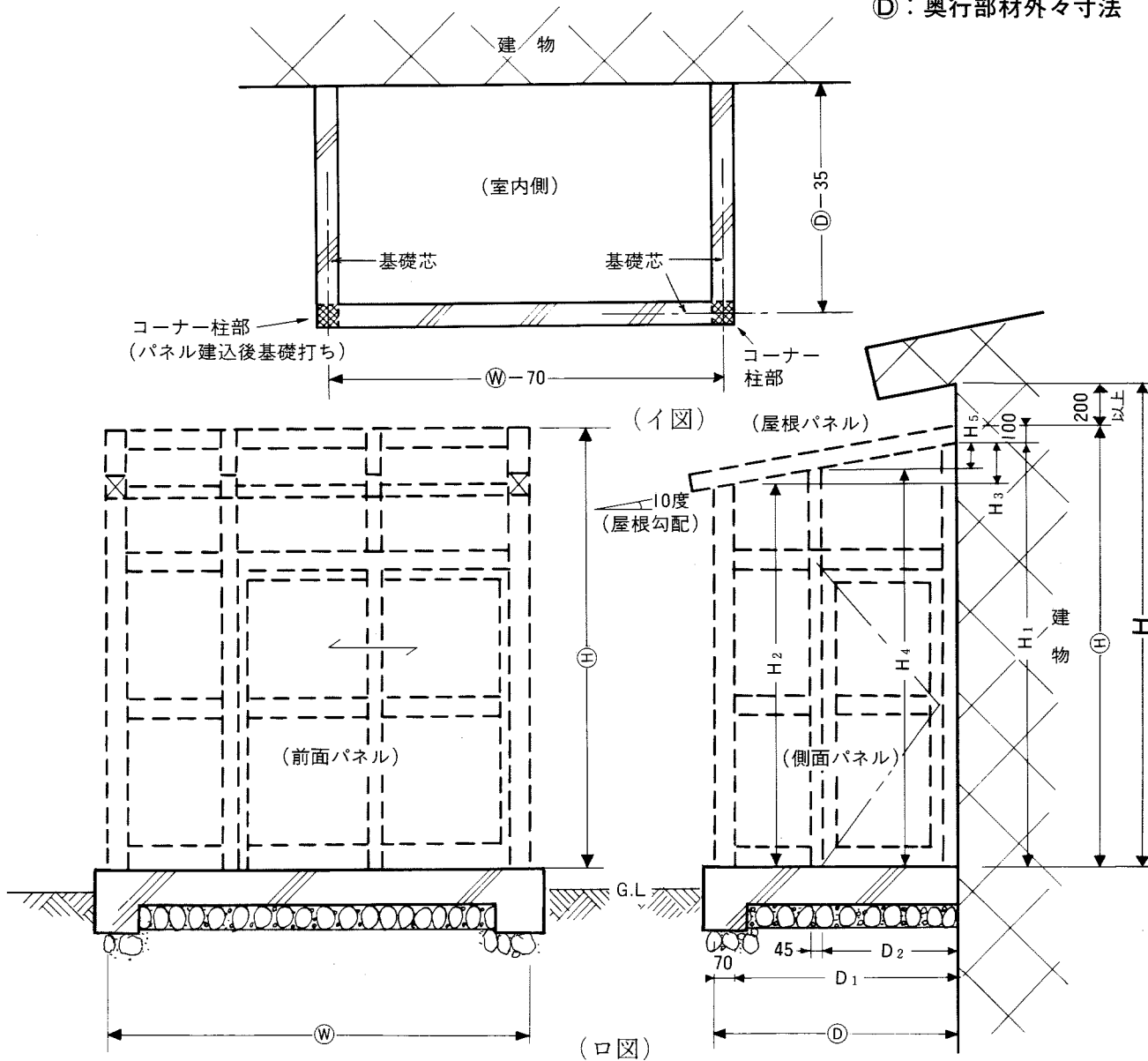
次に屋根パネルを乗せて組立てて下さい。最後に①⑤部材を取り付け、シーリングします。

(注意) たる木のピッチの限界は内寸法で900mm以内に設定して下さい。



# ■基礎の設定

※  $\textcircled{W}$  : 間口部材外々寸法  
 $\textcircled{D}$  : 奥行部材外々寸法



前面パネル、側面パネルを決めてから、 $\textcircled{W}$ 、 $\textcircled{D}$ 寸法の基準墨を出して基礎を打って下さい。その際、基礎ブロックのセンターとサンルーム・風除室部材のセンターを合わせて基準墨を出して下さい。(イ、ロ図)

又コーナー柱部は埋込み深さ300以上見込んで基礎を打って下さい。(コーナー柱部はパネル建込後基礎打ちして下さい)

### 〔屋根ユニット部材寸法表〕

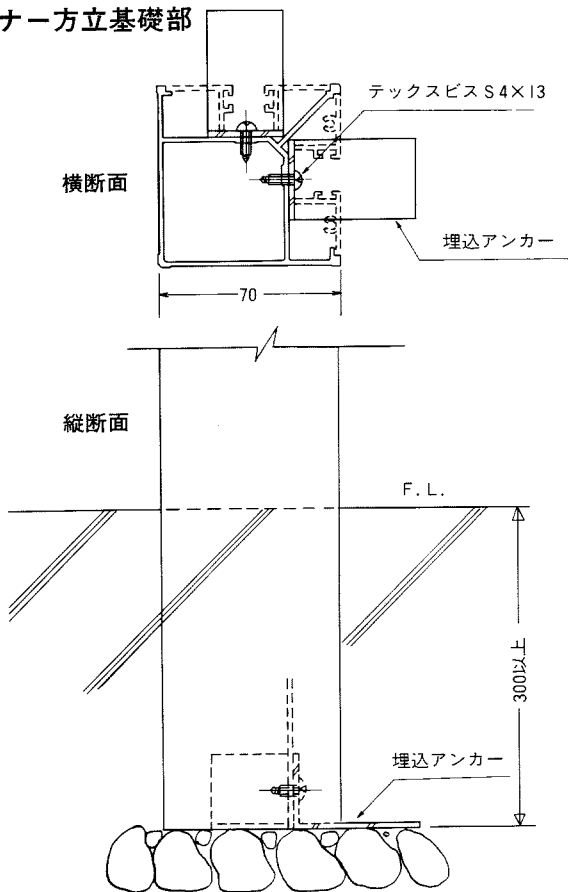
		( $D_1$ 寸法)		
$\textcircled{W}$ 寸法	{	2.5間タイプ…… 5085	{	6 尺タイプ……1960…… (1890)
		2 間タイプ…… 4085		4.5尺タイプ……1465…… (1395)
		1.5間タイプ…… 3085		3 尺タイプ……1015…… ( 945)

(注) 各パネルを切詰めする場合は、嵌殺しパターンで切詰めして下さい。

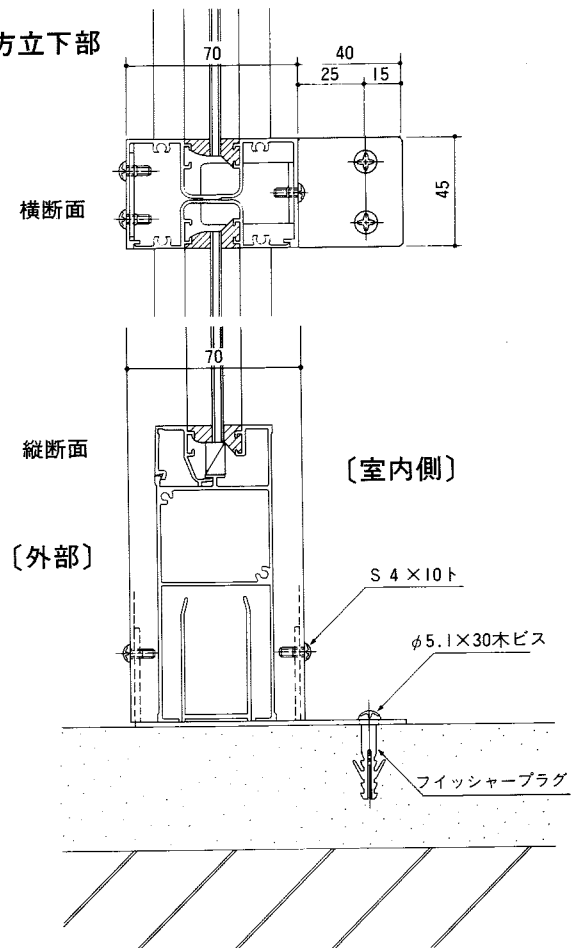
(注) 建物にひさし又は小屋根がある場合、サンルーム取付高さ $\textcircled{H}$ プラス200以上の余裕を見込んで施工して下さい。(H寸法)

## ■ コーナー方立及連窓方立下部納り図

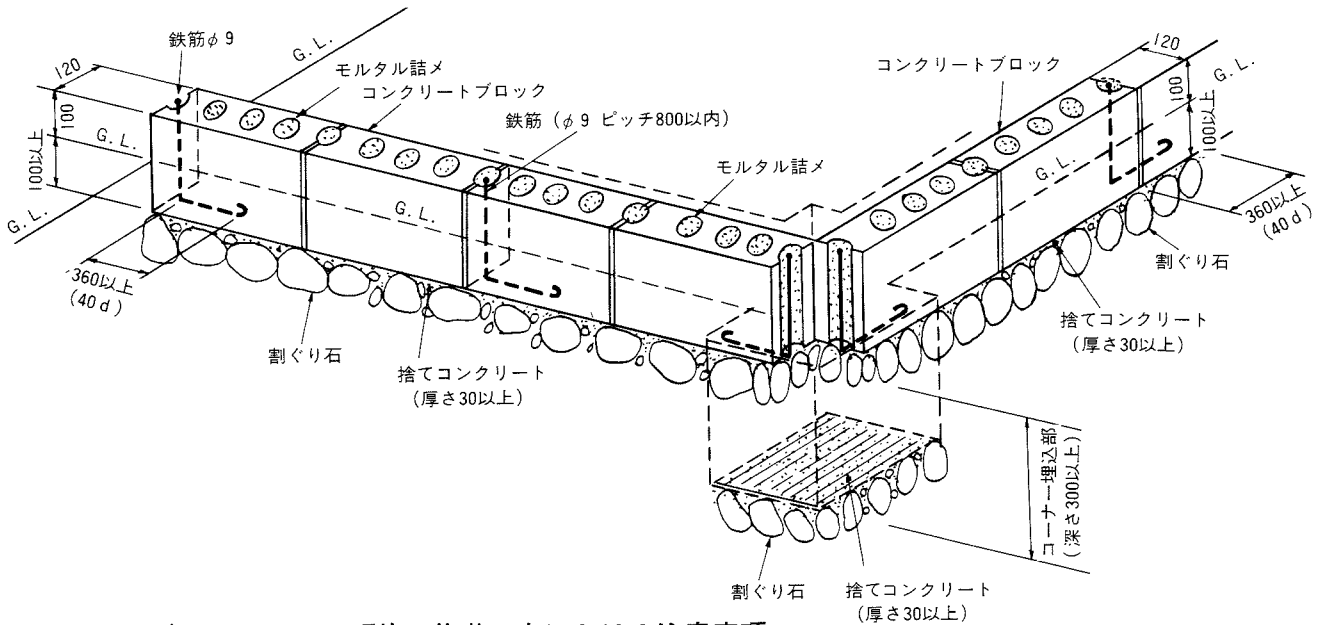
コーナー方立基礎部



連窓方立下部



## ■ 基礎工事詳細図



### サンルーム(サンルーミィI型)の基礎工事における注意事項

1. 基礎工事用コンクリートブロックは、厚み12cm以上の重量ブロック又は型枠ブロックを御使用下さい。
2. コンクリートブロックはG.Lより100mm以上埋込んで下さい。その際割ぐり石を並べ十分突き固めた後、捨てコンクリートを打ち、φ9鉄筋を配筋します。その後、コンクリートブロックを積みます。鉄筋は端部に必ず配筋して下さい。コーナー方立部は図の様に300mm以上掘りおこし、割ぐり石及捨てコン作業をして下さい。サンルームパネルが組立った後にコーナー方立部にコンクリート打ちして下さい。
3. コンクリート(又はモルタル)には急結剤等を使用しないで下さい。又海砂を使用するときは十分水洗いした物を使用して下さい。
4. 寒冷地域に御使用の場合、その地域に対応して基礎埋込深さを十分とって施工して下さい。

# 縦部材寸法算出基準(1)

## ●標準屋根勾配(10度)における H<sub>1</sub> H<sub>2</sub> H<sub>4</sub> と D との関係

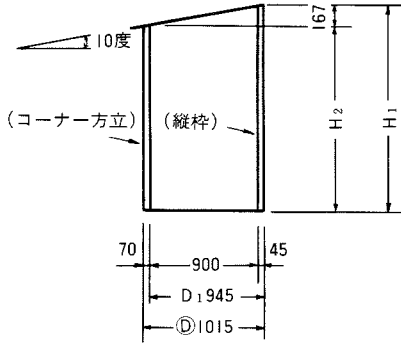
- H<sub>1</sub> 縦枠寸法
- H<sub>2</sub> コーナー方立寸法
- H<sub>3</sub> コーナー方立との段差寸法
- H<sub>4</sub> 連窓方立寸法
- H<sub>5</sub> 連窓方立と縦枠との段差寸法

角度係数=tan θ を表わします

(イ)出巾3尺の場合

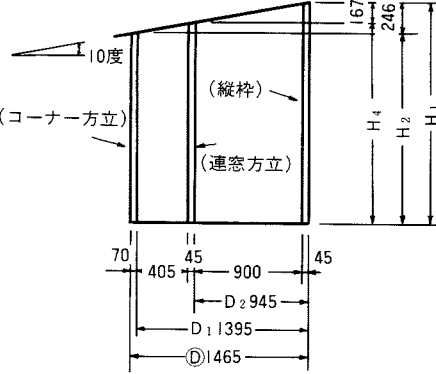
(ロ)出巾4.5尺の場合

(ハ)出巾6尺の場合



$$H_1 - 167 = H_2$$

(角度係数) D<sub>1</sub>  
0.176 × 945 = 167

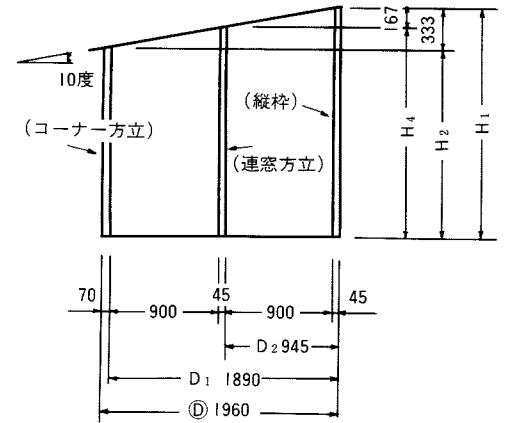


$$H_1 - 246 = H_2$$

$$H_1 - 167 = H_4$$

(角度係数) D<sub>1</sub>  
0.176 × 1395 = 246

(角度係数) D<sub>2</sub>  
0.176 × 945 = 167



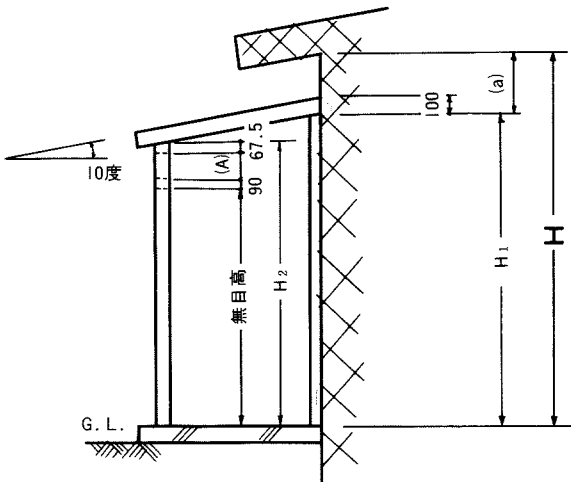
$$H_1 - 333 = H_2$$

$$H_1 - 167 = H_4$$

(角度係数) D<sub>1</sub>  
0.176 × 1890 = 333

(角度係数) D<sub>2</sub>  
0.176 × 945 = 167

### ※現場実測時における注意事項 (ひさし又は小屋根が有る場合)

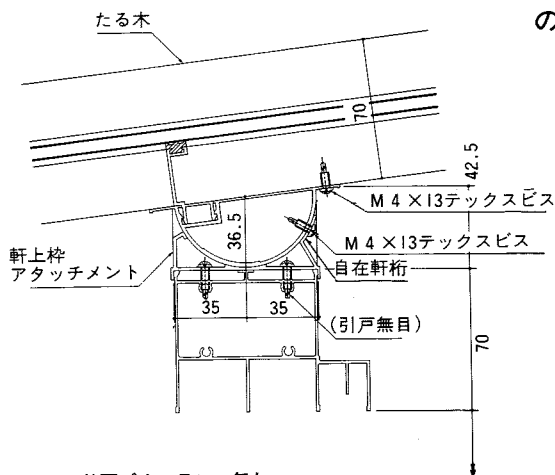


(A): 前面パネルランマ内寸法  
(a): 最小施工寸法300以上  
無目高: { 引戸H1900タイプ……1910  
          { 引戸H2000タイプ……2010

	引戸H1900タイプするとき		引戸H2000タイプするとき	
	必要H寸法		必要H寸法	
		ランマ寸法 (A)=300のとき		ランマ寸法 (A)=300のとき
出巾3尺の場合	2535+(A)	2835	2635+(A)	2935
出巾4.5尺の場合	2614+(A)	2914	2714+(A)	3014
出巾6尺の場合	2701+(A)	3001	2801+(A)	3101

※必要H寸法は(a)寸法300含

●現場実測上、上記必要H寸法がとれない場合は前面ランマ部を無くして、無目に直に自在軒桁を乗せて施工する場合の必要H寸法は下表参照。



前面パネルランマ無し  
無目部断面図

	引戸H1900 タイプ使用 必要H寸法	引戸H2000 タイプ使用 必要H寸法
出巾3尺の場合	2490 (2550)	2590 (2650)
出巾4.5尺の場合	2569 (2629)	2669 (2729)
出巾6尺の場合	2656 (2716)	2756 (2816)

※必要H寸法は(a)寸法300含

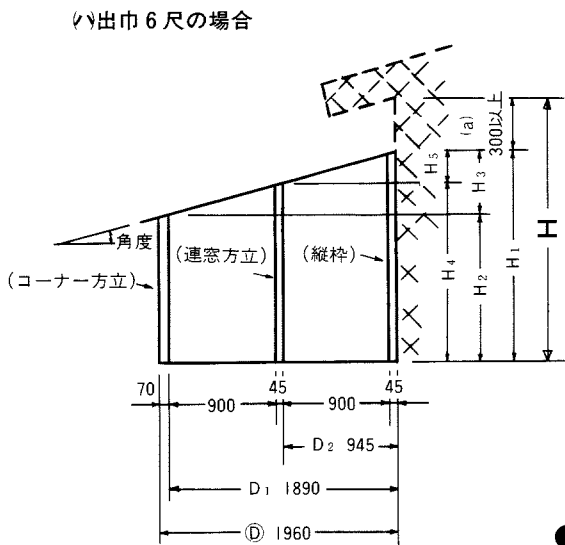
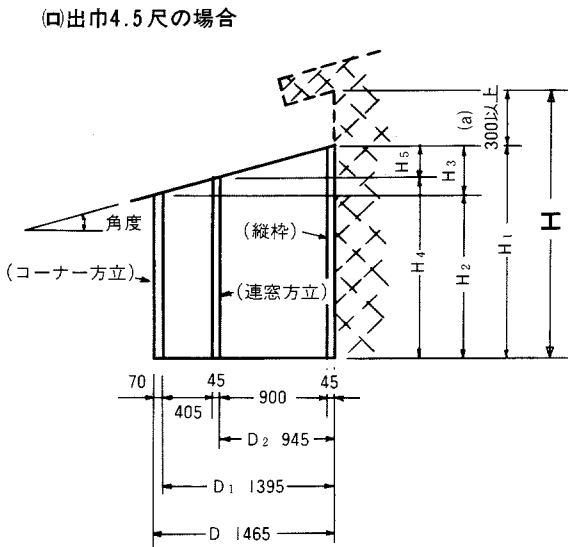
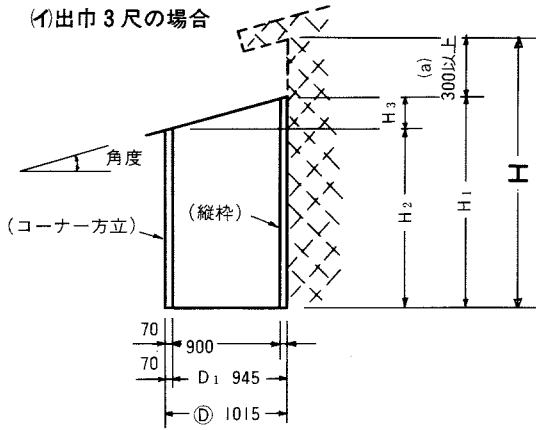
注) 上記寸法は2枚引違いタイプ。  
( )寸法は4枚引違いタイプを表わす。

# 縦部材寸法算出基準(2) [応用編]

## 自由屋根勾配における H<sub>1</sub> H<sub>2</sub> H<sub>3</sub> と D との関係

$$H_3 = (\text{角度係数}) \times D_1 \quad H_5 = (\text{角度係数}) \times D_2$$

$$H_2 = H_1 - H_3 \quad H_4 = H_1 - H_5$$



※現場実測時における注意事項

角度	角度係数	H <sub>3</sub> 寸法	H <sub>2</sub> 寸法	ランマ寸法300のとき必要H寸法	
				引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度	0.087	82	H <sub>1</sub> -82	2747	2847
7度	0.123	116	H <sub>1</sub> -116	2782	2882
15度	0.268	253	H <sub>1</sub> -253	2924	3024
20度	0.364	344	H <sub>1</sub> -344	3019	3119
25度	0.466	440	H <sub>1</sub> -440	3118	3218
30度	0.577	545	H <sub>1</sub> -545	3227	3327

※前面ランマ部を無くして施工する場合(2枚引違い戸タイプ)

角度(イ)	必要最小H <sub>2</sub> 寸法		必要最小H寸法	
	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度(39.5)	2020	2120	2402	2502
7度(40.8)	2021	2121	2437	2537
15度(46)	2026	2126	2579	2679
20度(49.2)	2030	2130	2674	2774
25度(52.8)	2033	2133	2773	2873
30度(56.7)	2037	2137	2882	2982

角度	角度係数	H <sub>3</sub> 寸法	H <sub>2</sub> 寸法	ランマ寸法300のとき必要H寸法	
				引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度	0.087	121	H <sub>1</sub> -121	2786	2886
7度	0.123	172	H <sub>1</sub> -172	2838	2938
15度	0.268	374	H <sub>1</sub> -374	3045	3145
20度	0.364	508	H <sub>1</sub> -508	3183	3283
25度	0.466	650	H <sub>1</sub> -650	3328	3428
30度	0.577	805	H <sub>1</sub> -805	3487	3587

※前面ランマを無くして施工する場合(2枚引違いタイプ)

角度	必要最小H <sub>2</sub> 寸法		必要最小H寸法	
	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度	2020	2120	2441	2541
7度	2021	2121	2493	2593
15度	2026	2126	2700	2800
20度	2030	2130	2838	2938
25度	2033	2133	2983	3083
30度	2037	2137	3142	3242

角度	角度係数	H <sub>3</sub> 寸法	H <sub>2</sub> 寸法	ランマ寸法300のとき必要H寸法	
				引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度	0.087	165	H <sub>1</sub> -165	2830	2930
7度	0.123	232	H <sub>1</sub> -232	2898	2998
15度	0.268	507	H <sub>1</sub> -507	3178	3278
20度	0.364	688	H <sub>1</sub> -688	3363	3463
25度	0.466	881	H <sub>1</sub> -881	3559	3659
30度	0.577	1091	H <sub>1</sub> -1091	3773	3873

※前面ランマ部を無くして施工する場合(2枚引違いタイプ)

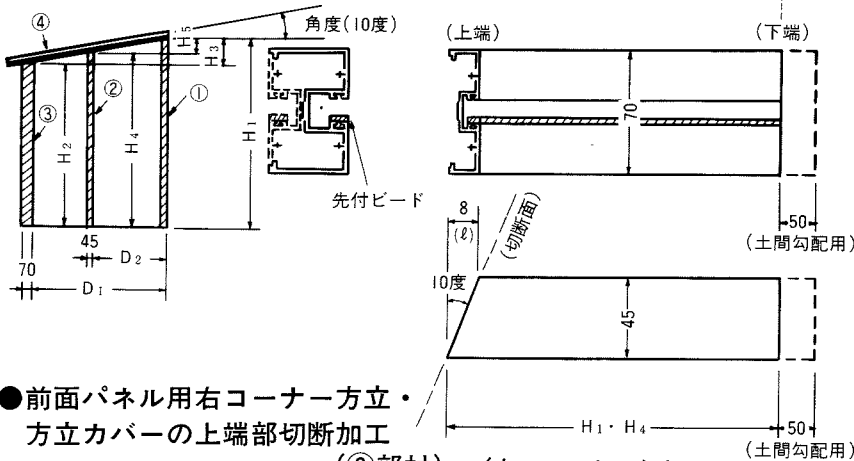
角度	必要最小H <sub>2</sub> 寸法		必要最小H寸法	
	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ	引戸H1900タイプ	引戸H2000タイプ
5度	2020	2120	2485	2585
7度	2021	2121	2553	2653
15度	2026	2126	2833	2933
20度	2030	2130	3018	3118
25度	2033	2133	3214	3314
30度	2037	2137	3428	3528

●現場実測上、上記必要H寸法がとれない場合は前面ランマ部を無くして、無目に直に自在軒桁を乗せて施工する場合の必要寸法。H寸法(※の表参照)

※H寸法は(a)寸法300含

## ■ 縦部材の切断加工手順 (標準屋根勾配10度用)

### ● 割方立兼縦枠・方立カバー (①、②部材) の切断加工



自由角度における  $l$  寸法早見表

自由角度	$l$ 寸法
5 度	4
7 度	5.5
15 度	12
20 度	16.5
25 度	21
30 度	26

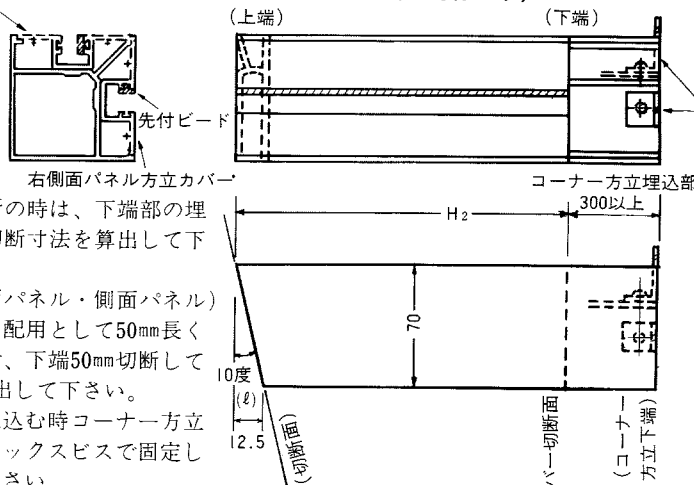
(注意)

● 割方立兼縦枠の下端部は土間勾配用として50mm長くしてありますので下端部50mm切断してから  $H_1 \cdot H_4$  寸法を算出して下さい。

### ● 前面パネル用右コーナー方立・方立カバーの上端部切断加工

(③部材)

前面パネル右コーナー方立用カバー



自由角度における  $l$  寸法早見表

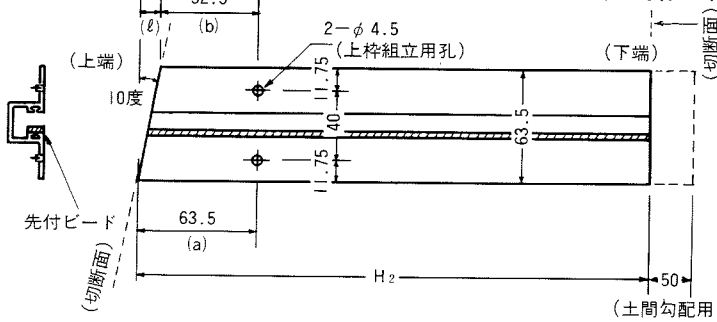
自由角度	$l$ 寸法
5 度	6
7 度	8.5
15 度	19
20 度	25.5
25 度	32.5
30 度	40.5

(注意)

- コーナー方立切断の時は、下端部の埋込代を見込んで切断寸法を算出して下さい。
- 方立カバー (前面パネル・側面パネル) の下端部は土間勾配用として50mm長くしてありますので、下端50mm切断してから  $H_2$  寸法を算出して下さい。
- コーナー方立を埋込む時コーナー方立下部アンカーをテックスビスで固定してから埋込んで下さい。

### ● 前面パネル右コーナー方立用カバー (③部材) の切断加工

(左コーナー方立用カバーは本図と対称です)

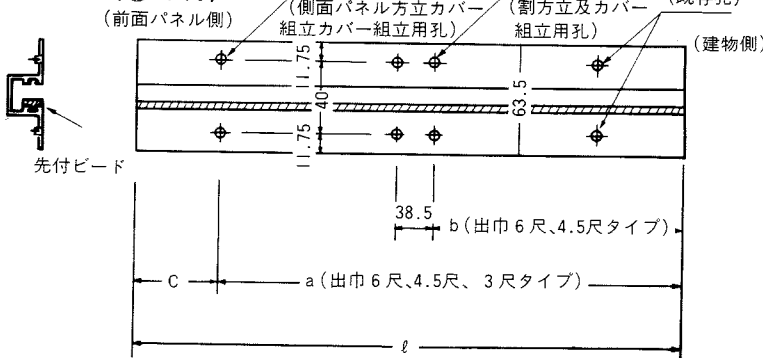


自由角度における  $l$ 、 $a$ 、 $b$  寸法早見表

自由角度	$a$	$l$	$b$
5 度	61	5.5	55.5
7 度	62	8	54
15 度	66.5	17	49.5
20 度	69.5	23	46.5
25 度	73	29.5	43.5
30 度	76	36.5	39.5

### ● 右妻たる木アタッチメント部材の孔明加工 (左妻たる木アタッチメントも同様です)

(④部材)



10度勾配用  $l$ 、 $a$ 、 $c$ 、 $b$  寸法早見表

出巾	$l$	$a$	$c$	$b$
3 尺	1237.5	963	274.5	
4.5 尺	1687.5	1419.5	268	963
6 尺	2197.5	1922	275.5	963

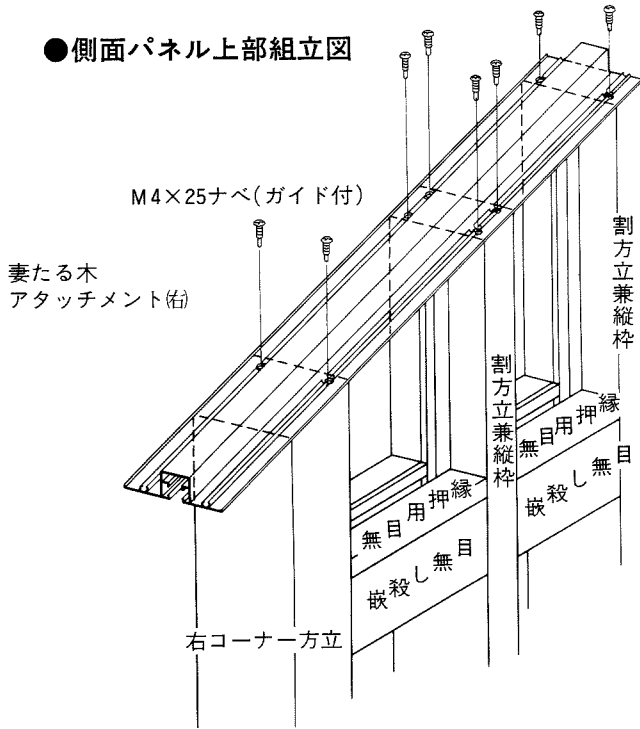
(注意)

- 屋根勾配が異なる場合側面パネルを組んで現物合せして、孔位置を決め  $\phi 5.5$  の孔明けて下さい。
- 出巾寸法切詰めときは前面パネルを切詰めして下さい。

## ■側面パネル及自在棟木取付手順

側面パネルを組立てます。パネルの組立は風除室部材ユニット組立手順を参照して下さい。  
 枠組立ビスは全てM4×25ナベ(ガイド付)を使用下さい。

### ●側面パネル上部組立図



規格寸法表

呼称	W <sub>1</sub> 寸法	Ⓜ寸法
1.5間	2945	3085
2間	3945	4085
2.5間	4945	5085

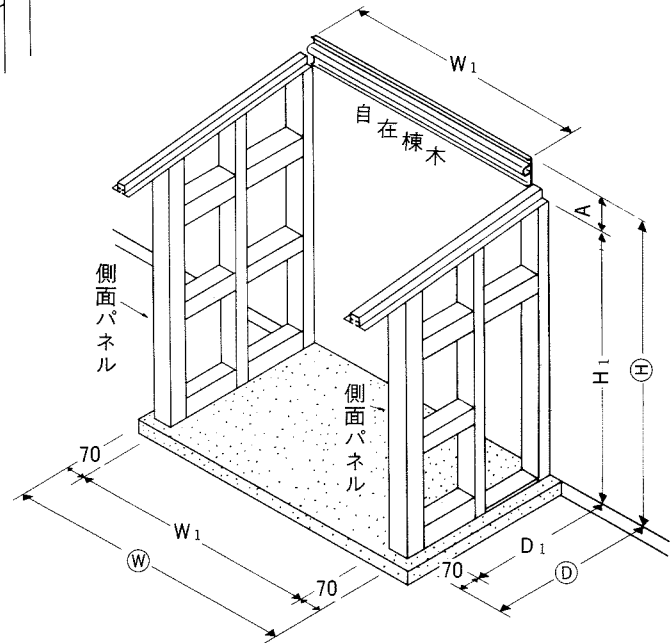
呼称	D <sub>1</sub> 寸法	Ⓧ寸法
3尺	945	1015
4.5尺	1395	1465
6尺	1890	1960

### ●自在棟木取付高さの位置出し

右図の様に側面パネルを設置し、仮止めしてから自在棟木の取付高さⓍ(H<sub>1</sub>+72寸法)を決めます。(イ図参照)

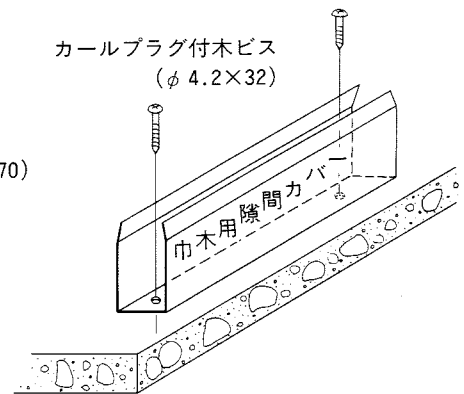
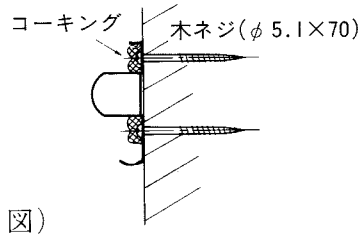
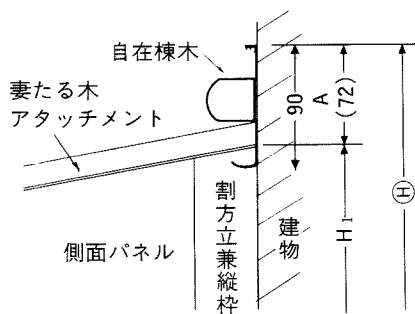
(自由角度の場合下表参照)

屋根勾配	A寸法
5度	76
7度	74
<b>標準屋根勾配10度</b>	<b>72</b>
15度	68
20度	64
25度	60
30度	56



次に側面パネルを仮止めし、自在棟木を建物と木ネジ(φ5.1×70)で固定し、コーキングして下さい。(自在棟木は割方立兼縦枠の内側に納ります)

嵌殺しパネルを建込む場合は、巾木用隙間カバーを基礎と固定してから建込んで下さい。(下穴φ8)



標準屋根勾配10度のとき

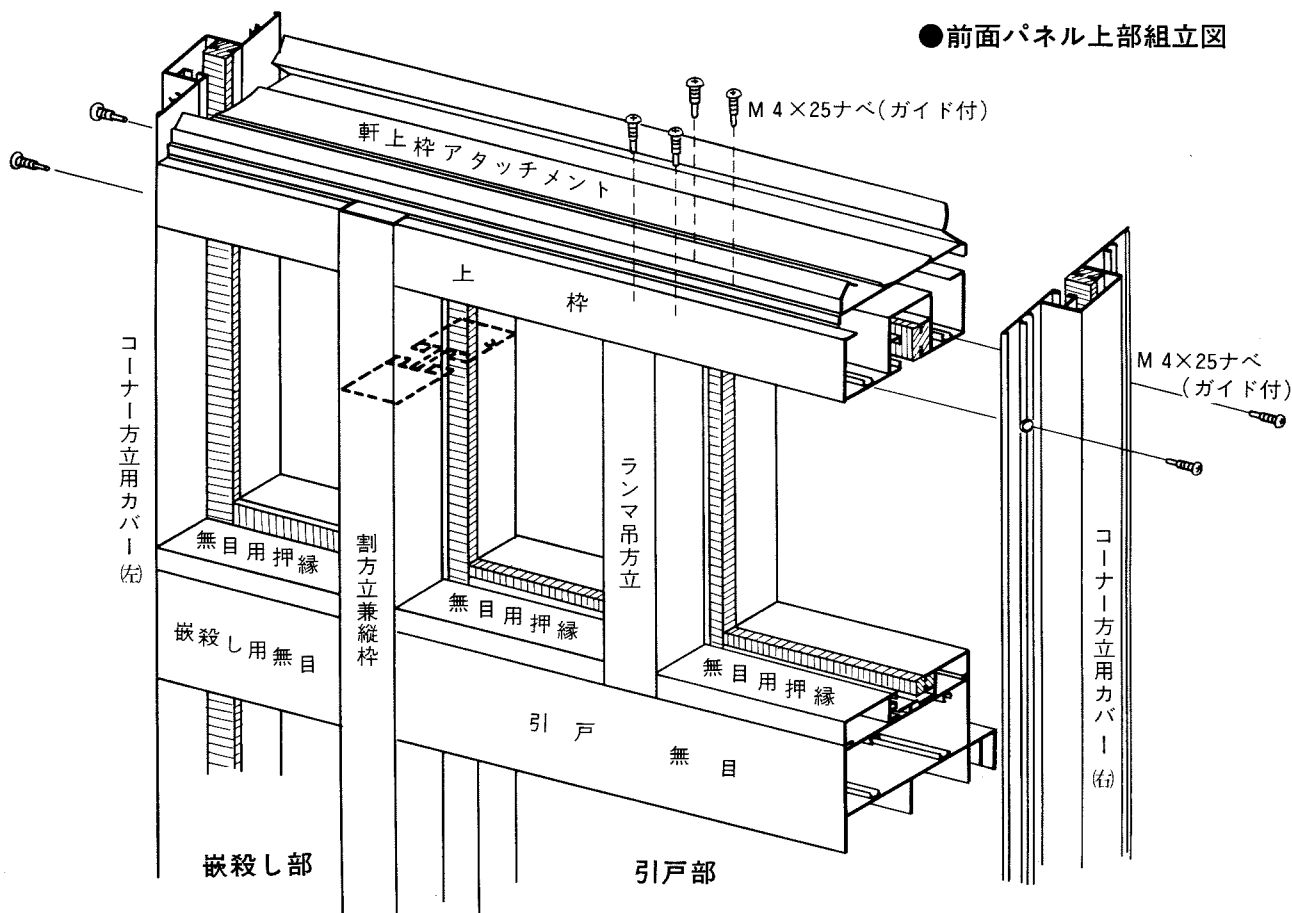
(注意) 開口寸法W<sub>1</sub>に合わせて屋根用横材(自在棟木・たる木取付枠・自在軒桁・軒上枠アタッチメント)を切断して下さい。切詰め寸法は、開口寸法切詰め寸法と同値です。



## ■ 前面パネル組立取付手順

前面パネルを組立てます。パネルの組立は風除室部材ユニット組立手順を参照して下さい。  
 枠組立ビスは全て、M4×25ナベ（ガイド付）を使用下さい。

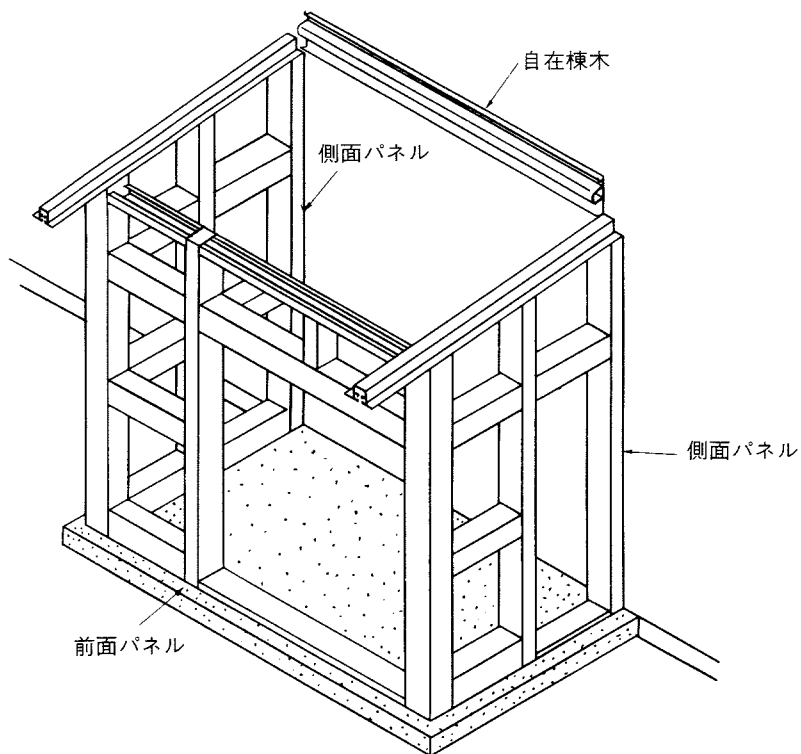
● 前面パネル上部組立図



次に前面パネルを設置し、側面パネルとつなぎます。

パネルの水平、垂直を確認してから建物と木ネジ（φ5.1×70）で仮止めします。

（パネルとパネルの仮止めはテックスビスM4×13を使用します）





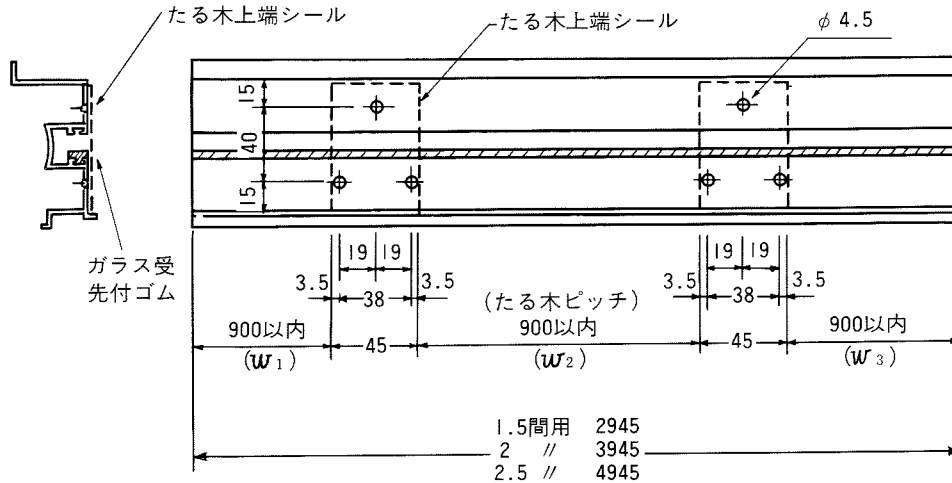


## ■ 屋根パネル部材加工組立手順

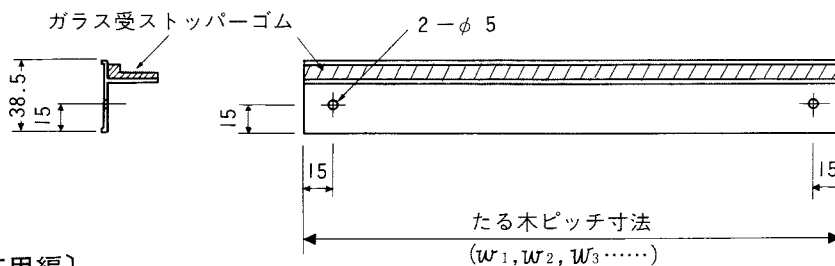
### ● たる木取付枠の加工

まず屋根パネルのたる木ピッチを決めます。その際出来るだけたる木の位置が、前面パネルの縦部材（割方立兼縦枠及ランマ吊方立）の位置に来る様に決めて下さい。又たる木のピッチの限界は、内寸法で900mm以内に設定して下さい。

次にたる木取付用孔明けを下図の様に加工して下さい。（その際たる木上端シールをはった後に、シールの孔位置をガイドにφ4.5の孔明けすると便利です。）



- 次にガラス受アングル及び軒桁ガラス受アングル部材を上記のたる木ピッチ（内寸法）に切断します。そして、ガラス受アングル部材のみ下記の様に孔明加工して下さい。

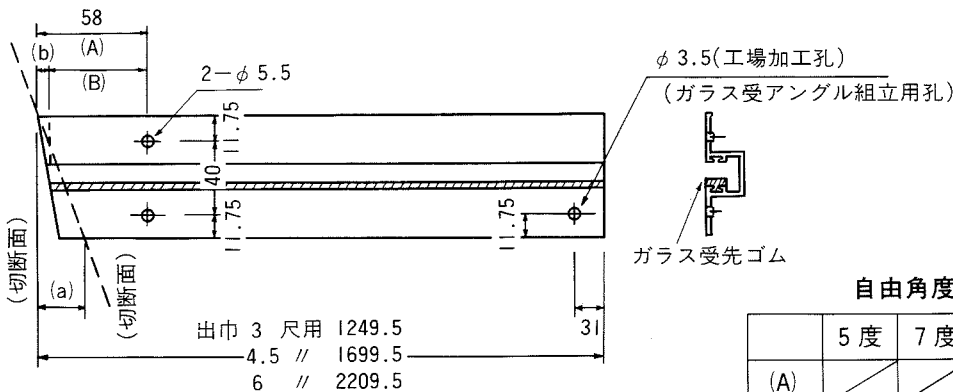


〔応用編〕

### ● 右妻たる木カバーの加工（たる木取付枠組立用孔）（※自由屋根勾配用）

（左妻たる木カバーも同様に加工して下さい）

標準屋根勾配（10度）用として、片側角度切りしてありますが、屋根勾配を変える場合は下図の様に切断加工して下さい。



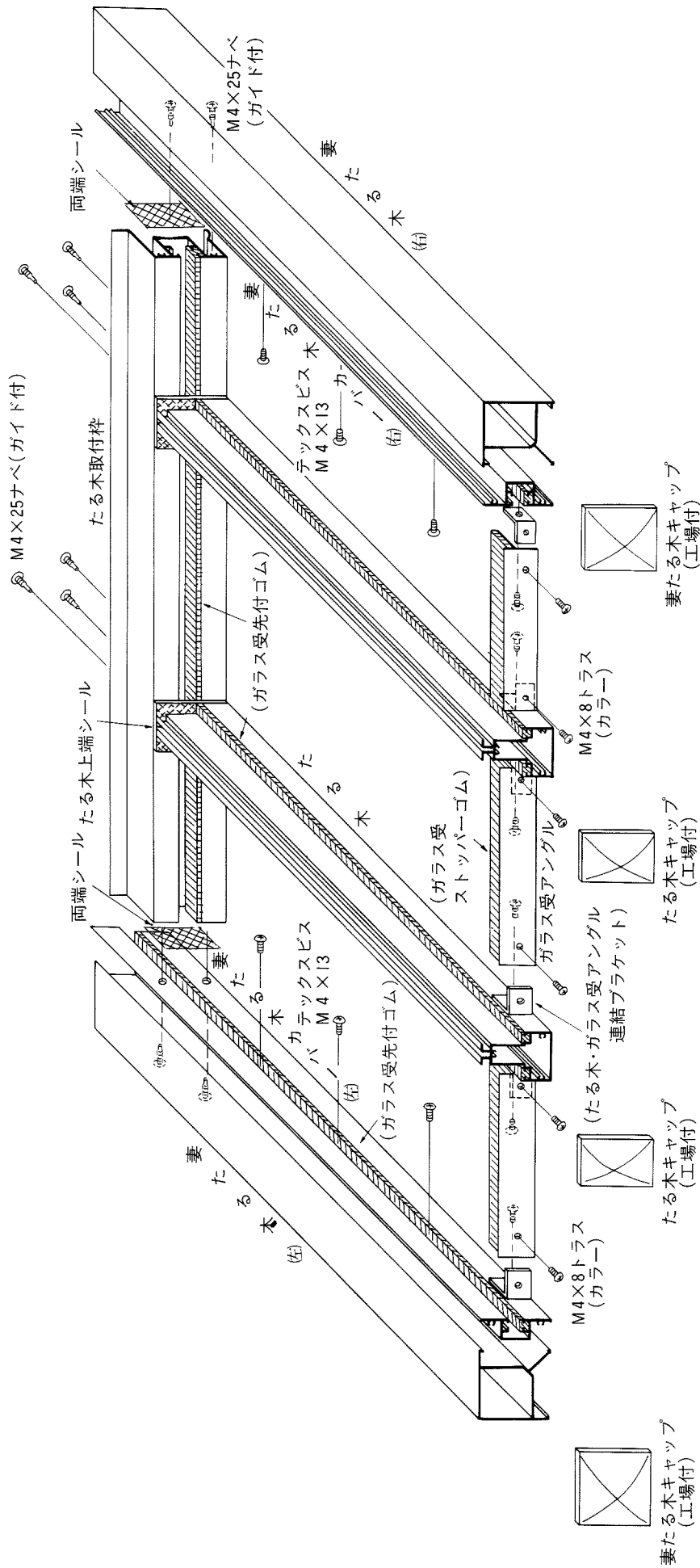
自由角度における寸法早見表

	5度	7度	15度	20度	25度	30度
(A)	/	/	61	65	68	72
(a)	/	/	17	23	29.5	36.5
(B)	53	57	/	/	/	/
(b)	5.5	3	/	/	/	/

妻たる木の角度切断も同様にして下さい。

（注）角度が5度及7度の時妻たる木がb寸法分短くなりますから、中間たる木もb寸切詰めして下さい。

## ■ 屋根パネル組立図



● たる木取付枠とたる木をビスM4×25ナベ（ガイド付）で組立てます。

次に妻たる木カバ（左・右）とたる木取付枠をビスM4×25ナベ（ガイド付）で組立てます。（その際両端にシール材を必ずつけて下さい）

次にたる木及び妻たる木カバ（左・右）とガラス受アングルを、連結ブラケットでビス

M4×8トラス（カラー）にて組立てます。

最後に妻たる木（左・右）と妻たる木カバ（左・右）をテックスビスM4×13にて組立てます。

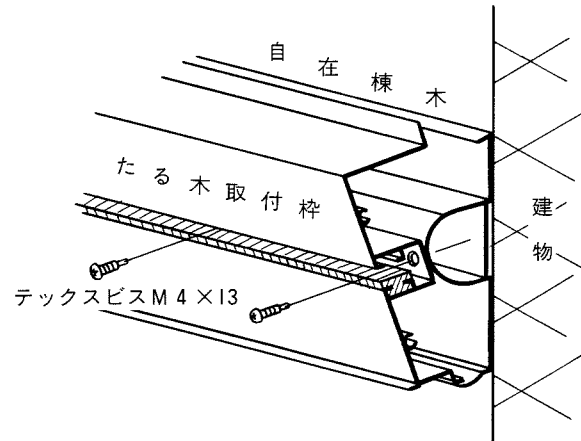
その際、妻たる木カバの孔位置をガイドにして固定して下さい。

## ■ たる木取付枠と自在棟木固定部組立図

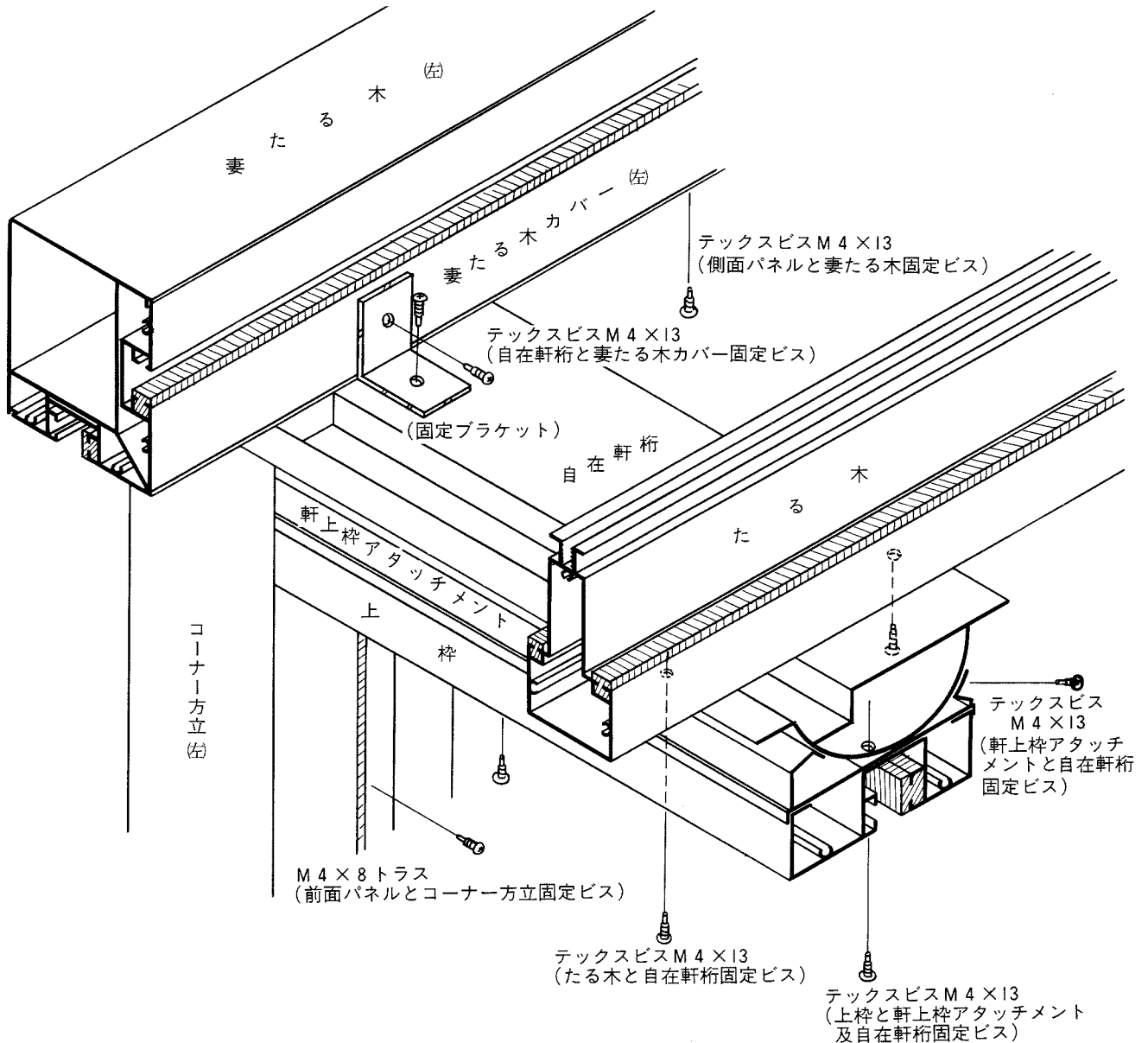
屋根パネルが組み終ると次に、自在軒桁と軒上枠アタッチメントを前面パネル上枠に乗せてから屋根パネルを乗せます。

各々のパネルの取合を調整した後に建物とは木ネジ $\phi 5.1 \times 70$ で固定し、各々のパネルはテックスビスM4 $\times$ 13で固定します。(右図参照)  
最後に妻たる木(左・右)と自在軒桁を、固定ブラケットでテックスビスM4 $\times$ 13で固定して下さい。

(下図参照)



## ■ コーナー方立屋根部組立図

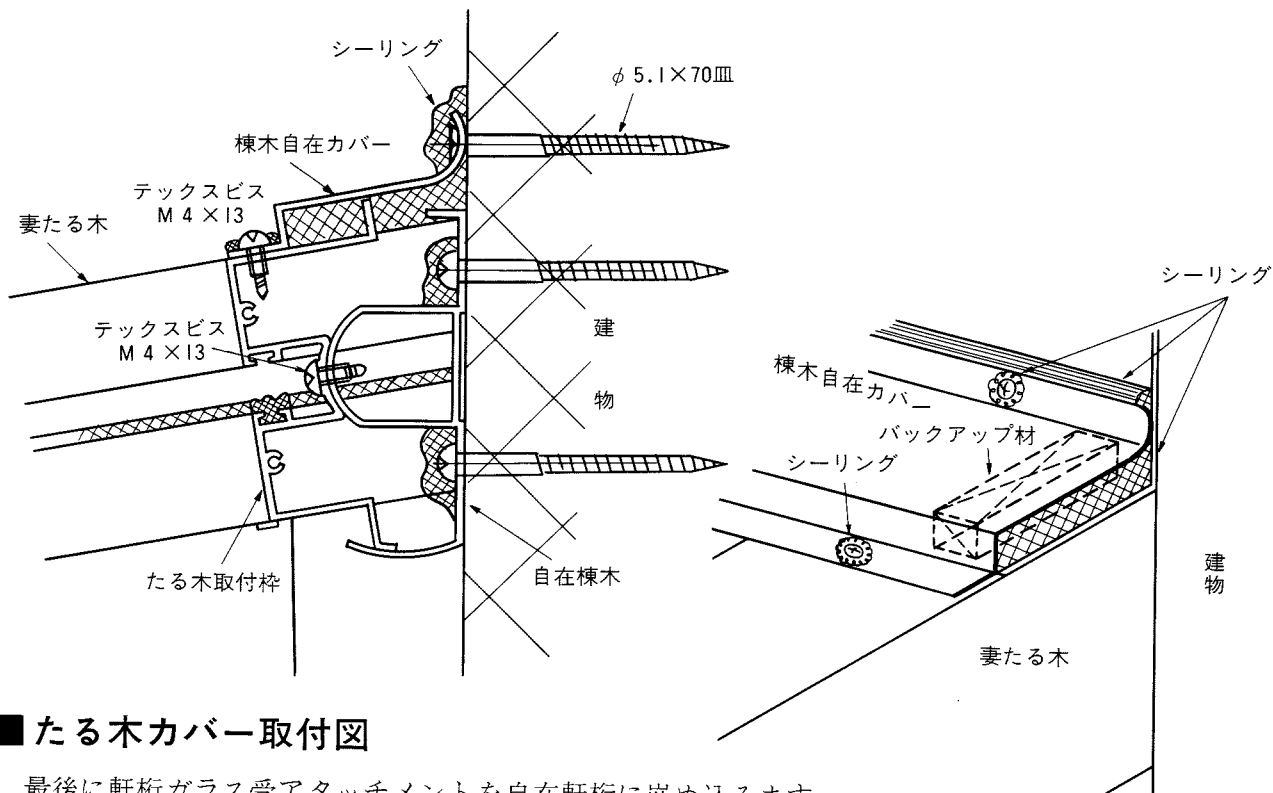


## ■ 棟木自在カバー取付図

棟木自在カバーを屋根パネル上部にのせ、屋根勾配に合わせて建物と木ネジ皿φ5.1×70で、たる木取付枠とはテックスビスM4×13で固定して下さい。

(その際ビス、木ネジ部はシーリングして下さい。)

なお、棟木自在カバー端部はバックアップ材をさし込みシーリングして下さい。



## ■ たる木カバー取付図

最後に軒桁ガラス受アタッチメントを自在軒桁に嵌め込みます。

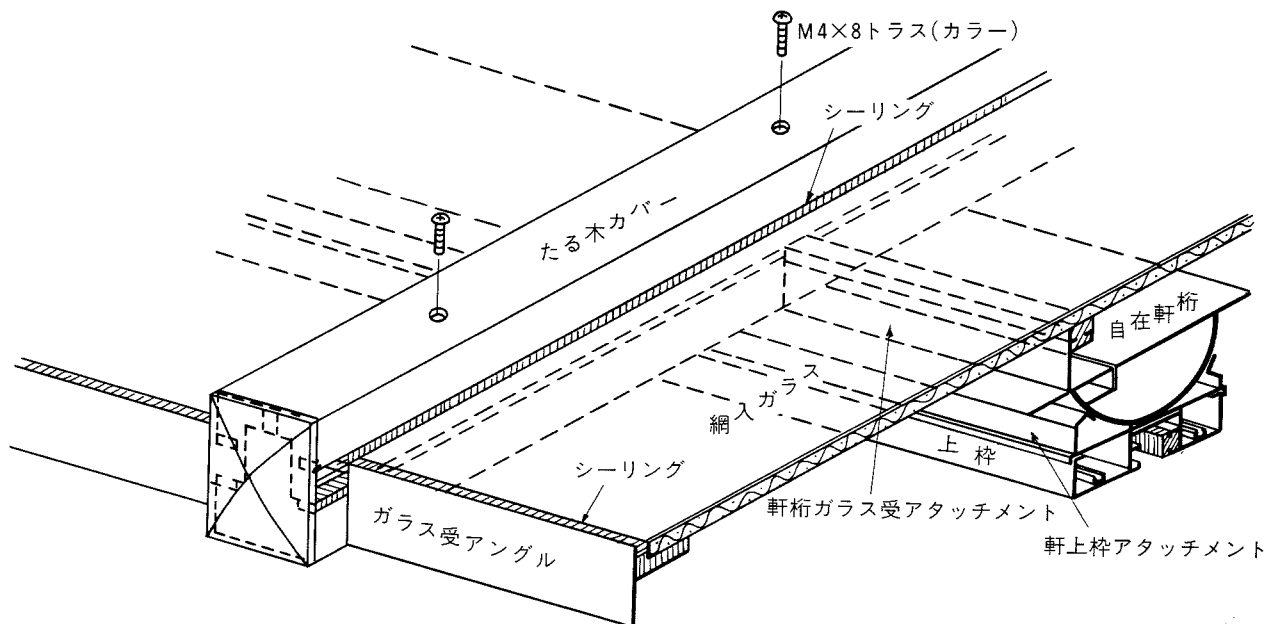
次に屋根パネルガラスを嵌め込み、たる木カバーをかぶせビスM4×8トラス(カラー)にてたる木と固定します。そして、ガラス回りをチオコール又はシリコンにてシールして下さい。(ポリサルファイド系シール) (その際、バックアップ材をつめて下さい。)

(注意事項)

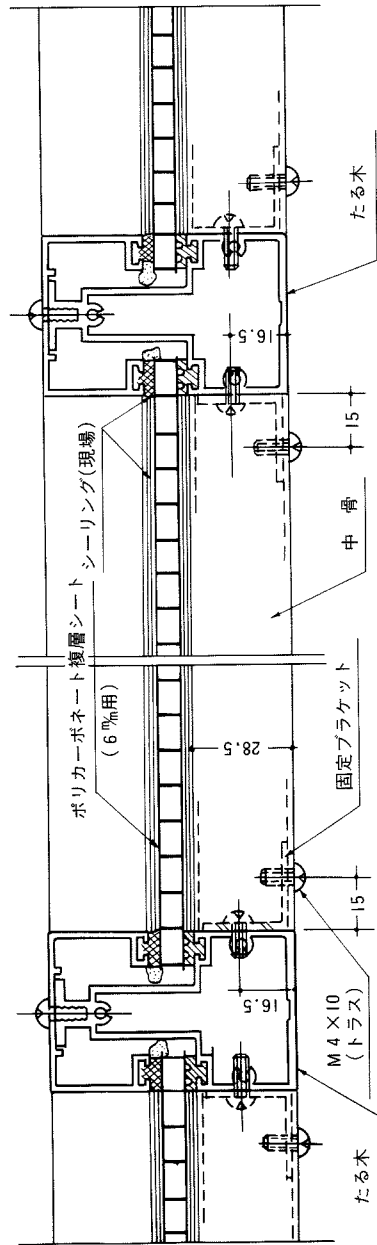
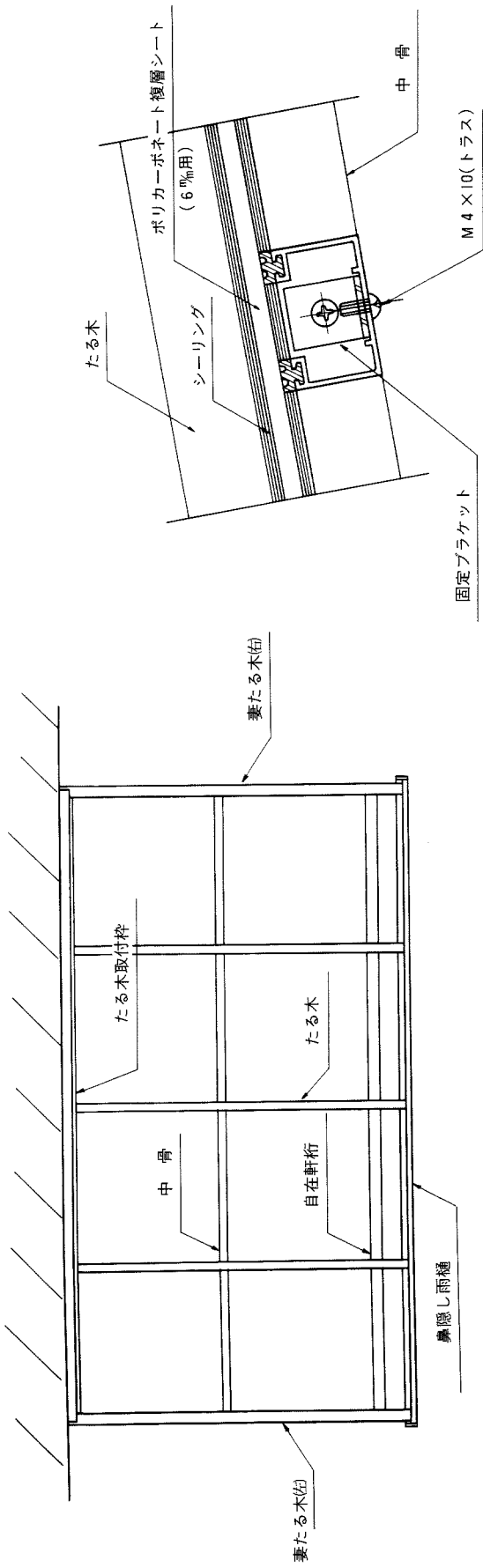
屋根パネル用ガラスは6.8mm網入ガラスを御使用下さい。

網入ガラス木口(ガラス受アングル部)は必ずシーリングして下さい。

〃 のみ込寸法は上部及両サイド部片側7mm以上とします。



## ■別売中骨納り図



### 仕様一覧

屋根材をポリカーボネート複層シートを御使用の場合、別売中骨を必ず御使用下さい。なおポリカーボネートの厚みは6%用を御使用下さい。  
施工時における屋根のシーリング材はメーカー指定品を御使用下さい。

# 基本部材梱包セット明細一覧表

名 称	梱包記号	梱包材切断長さ	型 材 断 面	梱包内記 [( )は数量]	
屋根用横材セット	1.5間用	CWRY 27	<p>たる木取付枠 自在棟木 軒上桀アタッチメント…2945 自在軒桁 棟木自在カバー…3075 ガラス受アングル・軒桁 ガラス受アタッチメント…2900</p>		<p>たる木取付枠(1)、自在棟木(1)、棟木自在カバー(1) 軒上桀アタッチメント(1)、自在軒桁(1)、 ガラス受アングル(1)、軒桁ガラス受アタッチメント(1) ビス M4×25ナベ(4)、テックスビス S4×13(30)、 カールプラグ付木ビス S4.1×32丸(6)、 木ビス S5.1×70丸(8)、木ビス S5.1×70皿(4)、 コーキング(1)、取付説明書</p>
	2.0 //	// 36	<p>たる木取付枠 自在棟木 軒上桀アタッチメント…3945 自在軒桁 棟木自在カバー…4075 ガラス受アングル・軒桁 ガラス受アタッチメント…3900</p>		<p>たる木取付枠(1)、自在棟木(1)、棟木自在カバー(1) 軒上桀アタッチメント(1)、自在軒桁(1)、 ガラス受アングル(1)、軒桁ガラス受アタッチメント(1) ビス M4×25ナベ(4)、テックスビス S4×13(35)、 カールプラグ付木ビス S4.1×32丸(10)、 木ビス S5.1×70丸(10)、木ビス S5.1×70皿(5)、 コーキング(1)、取付説明書</p>
	2.5 //	// 45	<p>たる木取付枠 自在棟木 軒上桀アタッチメント…4945 自在軒桁 棟木自在カバー…5075 ガラス受アングル・軒桁 ガラス受アタッチメント…4900</p>		<p>たる木取付枠(1)、自在棟木(1)、棟木自在カバー(1) 軒上桀アタッチメント(1)、自在軒桁(1)、 ガラス受アングル(1)、軒桁ガラス受アタッチメント(1) ビス M4×25ナベ(4)、テックスビス S4×13(43)、 カールプラグ付木ビス S4.1×32丸(14)、 木ビス S5.1×70丸(12)、木ビス S5.1×70皿(6)、 コーキング(1)、取付説明書</p>
屋根用たる木(2本入)	3 尺用	CWRT 092	たる木・たる木カバー…1188		<p>たる木(2)、たる木カバー(2)、たる木上端シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(4)、キャップ ビス M4×25ナベ(6)、ビス M4×8トラス(カラー)(18)、 テックスビス S4×13(4)</p>
	4.5 //	// 132	たる木・たる木カバー…1638		<p>たる木(2)、たる木カバー(2)、たる木上端シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(4)、キャップ ビス M4×25ナベ(6)、ビス M4×8トラス(カラー)(20)、 テックスビス S4×13(4)</p>
	6 //	// 182	たる木・たる木カバー…2148		<p>たる木(2)、たる木カバー(2)、たる木上端シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(4)、キャップ ビス M4×25ナベ(6)、ビス M4×8トラス(カラー)(24)、 テックスビス S4×13(4)</p>
屋根用たる木(3本入)	3 尺用	CWRT 093	たる木・たる木カバー…1188		<p>たる木(3)、たる木カバー(3)、たる木上端シール(3)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(6)、キャップ ビス M4×25ナベ(9)、ビス M4×8トラス(カラー)(27)、 テックスビス S4×13(6)</p>
	4.5 //	// 133	たる木・たる木カバー…1638		<p>たる木(3)、たる木カバー(3)、たる木上端シール(3)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(6)、キャップ ビス M4×25ナベ(9)、ビス M4×8トラス(カラー)(30)、 テックスビス S4×13(6)</p>
	6 //	// 183	たる木・たる木カバー…2148		<p>たる木(3)、たる木カバー(3)、たる木上端シール(3)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(6)、キャップ ビス M4×25ナベ(9)、ビス M4×8トラス(カラー)(36)、 テックスビス S4×13(6)</p>
屋根用妻たる木(左・右)	3 尺用	CWRCT09N	<p>妻たる木セット(左・右)…1250 溝カバー…600</p>		<p>妻たる木(各)(1)、妻たる木(各)(1)、妻たる木カバー(各)(1)、 妻たる木カバー(各)(1)、妻たる木アタッチメント(各)(1)、 妻たる木アタッチメント(各)(1)、溝カバー(1)、 たる木取付枠シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(2)、 自在軒桁・妻たる木固定ブラケット(2)、キャップ ビス M4×25ナベ(8)、ビス M4×8トラス(カラー)(6)、 テックスビス S4×13(22) コーナー方立下部アンカーブラケット(4)</p>
	4.5 //	// 13N	<p>妻たる木セット(左・右)…1700 溝カバー…600</p>		<p>妻たる木(各)(1)、妻たる木(各)(1)、妻たる木カバー(各)(1)、 妻たる木カバー(各)(1)、妻たる木アタッチメント(各)(1)、 妻たる木アタッチメント(各)(1)、溝カバー(1)、 たる木取付枠シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(2)、 自在軒桁・妻たる木固定ブラケット(2)、キャップ ビス M4×25ナベ(16)、ビス M4×8トラス(カラー)(6)、 テックスビス S4×13(26) コーナー方立下部アンカーブラケット(4)</p>
	6 //	// 18N	<p>妻たる木セット(左・右)…2210 溝カバー…600</p>		<p>妻たる木(各)(1)、妻たる木(各)(1)、妻たる木カバー(各)(1)、 妻たる木カバー(各)(1)、妻たる木アタッチメント(各)(1)、 妻たる木アタッチメント(各)(1)、溝カバー(1)、 たる木取付枠シール(2)、 たる木・ガラス受アングル連結ブラケット(2)、 自在軒桁・妻たる木固定ブラケット(2)、キャップ ビス M4×25ナベ(16)、ビス M4×8トラス(カラー)(6)、 テックスビス S4×13(30) コーナー方立下部アンカーブラケット(4)</p>
屋根用鼻隠し兼雨樋	1.5間用	CW2RG 27	鼻隠し雨樋…3110		<p>鼻隠し雨樋(1) 雨樋セット(2)、取付ブラケット(A)(5)、たてとい、キャップ 取付ブラケット(B)(5)、ビス M4×10ト(カラー)(20) 取付説明書</p>
	2.0 //	// 36	鼻隠し雨樋…4110		<p>鼻隠し雨樋(1) 雨樋セット(2)、取付ブラケット(A)(6)、たてとい、キャップ 取付ブラケット(B)(6)、ビス M4×10ト(カラー)(24) 取付説明書</p>
	2.5 //	// 45	鼻隠し雨樋…5110		<p>鼻隠し雨樋(1) 雨樋セット(2)、取付ブラケット(A)(7)、たてとい、キャップ 取付ブラケット(B)(7)、ビス M4×10ト(カラー)(28) 取付説明書</p>
別屋根用材中骨	2本入	CWRL102A	中骨材…1000		<p>中骨材(2) ブラケット(4)、ビス M4×12トラス(カラー)(8)</p>
	3本入	// 103A	中骨材…1000		<p>中骨材(3) ブラケット(6)、ビス M4×12トラス(カラー)(12)</p>